平成25年２月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年７月13日

上 場 会 社 名　　株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7829　　URL　http://www.samantha.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)寺田　和正
問合せ先責任者　(役職名)常務取締役　　(氏名)菅原　隆司　　(TEL)03(5412)8193

四半期報告書提出予定日　　平成24年７月13日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年２月期第１四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年５月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第１四半期	8,054	5.1	244	△35.4	224	△40.8	36	△88.9
24年２月期第１四半期	7,662	1.8	379	△20.0	378	△17.4	325	29.6

（注）　包括利益　　25年２月期第１四半期　　△83百万円(　―　%)　　24年２月期第１四半期　　275百万円(　―　%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年２月期第１四半期	204　71	―
24年２月期第１四半期	1,842　59	1,842　20

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第１四半期	17,113	8,682	49.9
24年２月期	19,723	9,640	44.1

（参考）　自己資本　　25年２月期第１四半期　8,540百万円　　24年２月期　8,688百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年２月期	―	800　00	―	800　00	1,600　00
25年２月期	―				
25年２月期(予想)		800　00	―	800　00	1,600　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	16,330	10.1	620	33.3	580	29.8	220	△33.3	1,246　60
通　期	35,300	10.8	1,800	26.3	1,730	25.7	820	25.8	4,646　42

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―　社　、除外　　１社（社名）スタイライフ株式会社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期１Ｑ	176,480株	24年２月期	176,480株
②　期末自己株式数	25年２月期１Ｑ	― 株	24年２月期	― 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期１Ｑ	176,480株	24年２月期１Ｑ	176,480株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（６）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期におけるわが国経済は、昨年３月の東日本大震災から１年を経て、企業業績も改善し緩やかではあるものの回復の兆しが見えはじめました。しかしながら、欧州を中心とした金融不安や電力供給に対する懸念等、先行きはいまだ不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましても、個人所得の伸び悩みや雇用不安による個人消費の停滞などにより、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などにより、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、平成24年５月22日に開業し、東京の新しい観光拠点として注目を集めております「東京スカイツリータウン」の商業施設「東京ソラマチ」に、「おみやげ」をテーマとした新業態店舗「サマンサタバサアニバーサリー 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」などグループで５店舗の出店を行った他、日本でも有数の観光地である東京臨海副都心地区に「劇場型都市空間」というコンセプトのもと、多様性と話題性に富んだ新感覚の商業施設として誕生した「ダイバーシティ東京 プラザ」に、「サマンサタバサプチチョイス ダイバーシティ東京 プラザ店」など２店舗を出店し、渋谷駅直結でオフィス、文化施設、商業施設が一体となるこれまでにない新しい発想の複合ビル「渋谷ヒカリエ」にも、「サマンサタバサプチチョイス 渋谷ヒカリエ ShinQs店」を出店いたしました。

プロモーション活動につきましては、「日本航空」とのコラボレーション企画である「ＪＡＬ × Samantha Thavasa ジェット」とサマンサタバサより新しいゴルフラインとしてデビューした「U25 Samantha Thavasa」が登場した「サマンサタバサリゾート ゴルフ＆トラベル」のＣＭ放映を行った他、「ＡＫＢ48」の「板野友美」さんとのＣＭ放映や「ファッションの力で、日本から世界を元気に！！」をコンセプトとした「サマンサミューズ ＡＬＬ ＳＴＡＲＳ ＣＭ 2012」のCM放映、「ＡＫＢ48」の「指原莉乃」さんのサマンサミューズ参戦を記念したＣＭ放映も行いました。また、平成24年７月20日から22日まで開催するLPGA公認女子プロトーナメント「サマンサタバサ ガールズコレクション・レディーストーナメント」のプレイベントとして、20代の女性層をメインターゲットとしたプレゴルフイベント「サマンサタバサ ガールズコレクション・レディーストーナメント チャレンジカップ2012」を開催いたしました。

商品戦略につきましては、ＣＭをはじめとするプロモーション戦略と連動した話題性のある商品を展開してまいりました。また、「サマンサタバサアニバーサリー 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」のオープンに伴い、ギフトやお土産をテーマにしたマグカップをはじめ、キャンドル、グラス、ボールペンなどを取り扱う新ブランド「Samantha Thavasa Anniversary」を展開いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は80億54百万円(前年同期比5.1%増)、売上総利益は48億54百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は２億44百万円(前年同期比35.4%減)、経常利益は２億24百万円(前年同期比40.8%減)となりました。また、当第１四半期連結累計期間において、関係会社整理損など１億22百万円を特別損失に計上したため、税金等調整前四半期純利益は１億２百万円(前年同期比129.7%増)、四半期純利益は36百万円(前年同期比88.9%減)となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

① ファッションブランドビジネス

バッグ部門においては新規出店９店舗(退店４店舗)、ジュエリー部門においては新規出店２店舗を行いました結果、バッグ部門・ジュエリー部門の売上高はそれぞれ、41億23百万円(前年同期比16.9%増)、４億30百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

アパレル部門においては、新規出店８店舗(退店２店舗)を行いました結果、売上高は11億62百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

この結果、その他部門の売上高３億１百万円を加えた当該事業セグメントの売上高(セグメント間取引相殺消去後)は60億18百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は３億39百万円(前年同期比19.8%減)となりました。

② ファッションｅコマースビジネス

ファッションｅコマースビジネスにおいては、当社グループのスタイライフ株式会社におきまして、ファッションＥＣサイト「Stylife」やＫＤＤＩ株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社との共同運営サイト『au one Brand Garden』を中心にネット部門の売上が増収しました。しかし、Look!s部門(通販雑誌による通販事業)において、インターネットショッピングサイトの台頭やセールの長期化など市場環境への対応が遅れたことにより収益が悪化しました。

この結果、売上高(セグメント間取引相殺消去後)は20億35百万円(前年同期比13.8%減)、営業損失は93百万円(前年同期は42百万円の損失)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

総資産は171億13百万円であり、前連結会計年度末と比較して26億９百万円減少しております。主な減少要因は、連結子会社の減少に伴う受取手形及び売掛金並びに無形固定資産などの減少によるものであります。

総負債は84億31百万円であり、前連結会計年度末と比較して16億51百万円減少しております。主な減少要因は、連結子会社の減少に伴う支払手形及び買掛金並びに長期借入金などの減少によるものであります。

純資産は86億82百万円であり、前連結会計年度末と比較して９億58百万円減少しております。主な減少要因は、連結子会社の減少に伴う少数株主持分などの減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年４月12日付の平成24年２月期決算短信で発表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。今後、連結業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年５月14日及び５月15日に公表しました「連結子会社（孫会社）の業務・資本提携および主要株主の異動に関するお知らせ」「特定子会社(孫会社)の異動に関するお知らせ」のとおり、当社の特定子会社であったスタイライフ株式会社は、持分法適用関連会社へ異動しています。この結果、当第１四半期連結会計期間末における連結子会社の数は６社、持分法適用関連会社の数は１社になっております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,471,749	4,391,554
受取手形及び売掛金	2,705,007	1,782,786
商品及び製品	5,768,566	5,257,294
仕掛品	17,163	－
原材料及び貯蔵品	180,704	135,096
その他	1,342,909	863,646
貸倒引当金	△2,314	△628
流動資産合計	13,483,785	12,429,750
固定資産		
有形固定資産	1,411,150	1,341,604
無形固定資産		
のれん	419,254	36,063
その他	949,440	183,362
無形固定資産合計	1,368,695	219,425
投資その他の資産		
差入保証金	1,918,130	2,038,733
その他	1,546,239	1,088,039
貸倒引当金	△4,698	△4,191
投資その他の資産合計	3,459,670	3,122,582
固定資産合計	6,239,516	4,683,612
資産合計	19,723,302	17,113,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,710,296	1,386,135
短期借入金	1,080,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,722,000	1,534,000
未払法人税等	289,347	38,824
引当金	189,246	249,400
その他	1,477,338	1,094,817
流動負債合計	6,468,228	5,803,177
固定負債		
長期借入金	3,295,430	2,535,000
引当金	26,690	－
その他	291,955	92,908
固定負債合計	3,614,075	2,627,908
負債合計	10,082,304	8,431,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年２月29日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年５月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	4,321,624	4,216,567
株主資本合計	8,706,824	8,601,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,715	624
為替換算調整勘定	△22,151	△62,190
その他の包括利益累計額合計	△18,435	△61,566
少数株主持分	952,608	142,076
純資産合計	9,640,997	8,682,277
負債純資産合計	19,723,302	17,113,362

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）
売上高	7,662,050	8,054,464
売上原価	3,245,402	3,200,452
売上総利益	4,416,647	4,854,012
販売費及び一般管理費	4,037,161	4,609,035
営業利益	379,485	244,976
営業外収益		
受取利息	344	2,833
受取配当金	30	－
補助金収入	4,152	－
為替差益	10,149	－
その他	4,846	4,470
営業外収益合計	19,521	7,303
営業外費用		
支払利息	17,867	12,602
為替差損	－	12,809
その他	2,786	2,771
営業外費用合計	20,653	28,183
経常利益	378,353	224,096
特別利益		
固定資産売却益	1,946	－
特別利益合計	1,946	－
特別損失		
固定資産除却損	275,659	1,355
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,928	－
災害による損失	1,268	－
関係会社整理損	－	111,425
その他	－	9,236
特別損失合計	335,856	122,017
税金等調整前四半期純利益	44,444	102,079
法人税、住民税及び事業税	46,192	30,940
法人税等調整額	△281,394	100,986
法人税等合計	△235,201	131,927
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	279,645	△29,848
少数株主損失（△）	△45,533	△65,974
四半期純利益	325,179	36,126

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	279,645	△29,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,111	△2,168
為替換算調整勘定	1,241	△51,539
その他の包括利益合計	△3,869	△53,707
四半期包括利益	275,776	△83,555
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,515	△6,499
少数株主に係る四半期包括利益	△45,738	△77,056

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成23年３月１日 至 平成23年５月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	ファッションブランドビジネス	ファッションｅコマースビジネス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,300,840	2,361,209	7,662,050	―	7,662,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,991	―	13,991	△13,991	―
計	5,314,832	2,361,209	7,676,042	△13,991	7,662,050
セグメント利益又は損失（△）	423,178	△42,348	380,829	△1,343	379,485

（注）1 セグメント利益又は損失の調整額△1,343千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	ファッションブランドビジネス	ファッションｅコマースビジネス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,018,625	2,035,839	8,054,464	―	8,054,464
セグメント間の内部売上高又は振替高	56,902	―	56,902	△56,902	―
計	6,075,527	2,035,839	8,111,367	△56,902	8,054,464
セグメント利益又は損失（△）	339,355	△93,127	246,228	△1,251	244,976

（注）1 セグメント利益又は損失の調整額△1,251千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２． 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第１四半期連結会計期間において、連結の範囲の変更により、前連結会計年度の末日に比べ、当第１四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ファッションｅコマースビジネスで4,764,068千円減少しています。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。